満開のオオムラサキ
（新宿御苑つつじ山にて）

東京清掃労働組合退職者会機関紙

# 清友

No.177
2024年5月
（2024年5月7日発行）

東京清掃労働組合退職者会
〒102-0072　千代田区飯田橋3－9－3　SKプラザ5F
TEL 03（3237）9995　　FAX 03（3237）4541

## 5・3憲法大集会

快晴の5月3日、有明防災公園で10回目となる『憲法大集会』が開かれ、会場を埋め尽くす3万2千人が結集、退職者会の参加者は11名でした。

### 憲法無視の政治を許すな

メインスピーチの1人目、伊藤塾塾長で弁護士の伊藤真さんは、「現憲法は戦前の天皇主権国家を転換させたもの。戦後日本は戦争をしていない。14年の集団的自衛権行使閣議決定からアメリカと一緒に戦争できる国になり、武器輸出解禁にまで至った。学問や芸術など様々な分野に政府が介入する憲法無視の政治が進んでいる。今こそ、憲法を守ろう」と訴えました。

### 日米同盟は危険

2人目の新外交イニシアティブ（ND）代表で弁護士の猿田佐世さんは「岸田首相は訪米し日米軍事同盟強化を約束してきた。日本は既に軍事大国だ。日米韓同盟は、アメリカ支配のもと各国政府の全省庁が集まり対応できるシステムが構築されており、戦争に引きずり込まれる。戦争は一発の銃弾で起きる」と日米軍事同盟傾斜への危険性を指摘しました。

### 緊急事態は改憲理由にならない

政党挨拶は、立憲民主党逢坂誠二代表代行、共産党田村智子委員長、れいわ新撰組櫛渕万里共同代表、社会民主党福島瑞穂党首、「緊急事態対応は法整備でできる。改憲の理由にはならない」など、改憲派の姿勢を批判しました。

### 改憲阻止の闘いは正念場だ

一方、改憲派は『民間憲法臨調』などが集会。自民党だけでなく、維新、公明、国民民主は「緊急事態に対処するため、改憲は必要」「立憲民主抜きで早急に着手を」と主張しています。維新・国民民主は自民党の補完物としての姿勢をあらわにしています。改憲阻止の闘いは正念場です。

自治労などの参加者

# 本格ちゃんこ旨し！大満足！

## しかし、八王？…なぜこのようなことが？

4月22日、春のフィールドワーク「東京都慰霊堂訪問と両国界隈散策、本格ちゃんこでランチ宴会」を行いました。参加者は15名でした。

### 教養香るミニツアーが？

事前に決めていたプランは、北斎生誕の地や津軽藩上屋敷跡、歴代横綱名を記した石碑がある野見宿禰神社を見物し、すみだ北斎美術館鑑賞、八角部屋などの前を通り東京都慰霊堂へ、最後の見学先は国技館相撲博物館、そして、「本格ちゃんこ」が待っているというものでした。

東京都慰霊堂前にて

### ガ～ン、美術館も博物館も？

当日は月曜日、美術館などの休館が多い日なんですね。トホホ、すみだ北斎美術館、東京都慰霊堂復興記念館、国技館相撲博物館とことごとく休館。事前に下見までしてじっくり計画を立てたはずなのに、何ともトボケたもの。

仕方がないので、美術館・博物館を除く見物先をゆっくり回り、懐かしの総武本線始発旧両国駅舎内につくられた『江戸NOREN』の土俵前で休んでいる間に『ちゃんこ道場』と交渉し、1時間早く宴会を開始することができました。

「本格ちゃんこ」はひと味違うね

### ちゃんこを楽しめたから許す

いろいろなことがあったものの、勿論、「ちゃんこ」は大盛り上がり。大満足でした。

参加したみなさんから「休館はなんだったけど、元々、ちゃんこが一番の目的だし、美味しいちゃんこを存分に楽しめたから、よしとしよう」の弁。でも、次はしくじらないよう、ハンセ～します。

結果として美術館入館料がういたことや、ちゃんこでおなかが一杯になって追加料理の注文が少なかったこともあり、参加会費から千円バック。元は自分のお金なのに、割り戻しって何故か得したような気分になるものですね。

## 秋の学習交流会

来年、年金・医療保険・介護保険の制度改訂が想定されます。9月に予定している学習会のテーマは『変わる社会保障制度』にするつもりです。

## 日帰りツアー

これまでのツアー参加者アンケートによる「行きたいところ」候補から数カ所抽出して検討しており、現時点での第一候補は、『小江戸川越蔵の街めぐりと温泉』です。

川越時の鐘

## 秋のフィールドワーク

秋に、『江東フィールドワーク』を予定しています。「芭蕉と深川探訪」「東京大空襲戦災資料センター」「清澄庭園と深川江戸資料館、深川めし」などを候補に検討しています。

清澄庭園

深川と言えば『深川めし・深川丼』ですが、「ご馳走感がない」という声もあり、ムムム、検討中です。

# 5年に一度の年金制度改定へ検討開始

年金制度は、5年ごとに「財政検証」を行い、その結果を踏まえて制度改正することになっており、今年は「財政検証」を行う年です。

## オプション試算5項目提示

厚生労働省は、4月16日、年金制度の財政検証「オプション試算」の内容を『社会保障制度審議会年金部会』に提示しました。内容は別記の通り5項目＋1です。これらは19年検証でも課題でしたが、適用の一部拡大と在職老齢年金制度基準改善に留まりました。

## 抵抗勢力は3つ？

「被用者保険適用拡大」は、年金財政安定に寄与するだけでなく、先行きの低年金高齢者を減らす効果もあり、働き方の構造変化にもつながります。しかし、短時間労働者を多く雇用する企業が、社会保険料負担増に抵抗すると思われます。

また、主婦パート層等も負担増を嫌う傾向があります。

さらに、「基礎年金期間延長」は、財源問題で財務省が抵抗した経緯もあります。

## 来年通常国会に改正案上程

「在職老齢年金制度」廃止は、高齢者の就業を促進する面と将来世代の年金額に影響を及ぼすという相反する要素があり、慎重な検討が必要です。

厚労省は、今夏を目途に「財政検証」をまとめ、年末までに年金制度改正案を詰めるとしています。来年の通常国会に改正案が上程されることになります。

年金制度改善へ、私たちの声を反映させましょう。

### オプション試算の内容（案）

■被用者保険の更なる適用拡大
＊被用者保険適用対象の短時間労働者企業規模要件や個人事業所非適用業種の適用範囲見直し
＊賃金要件・労働時間要件等を見直し、一定程度働く全被用者を被用者保険適用対象に
〈現行の要件〉従業員規模51人以上（今年10月から）、週20時間以上、月収8.8万円以上
■基礎年金の拠出期間延長・給付増額
＊基礎年金保険料拠出期間を現行の40年（60歳迄）→45年（65歳迄）に延長、拠出期間の伸びに合わせて基礎年金が増額する仕組み
■マクロ経済スライドの調整期間の一致
＊基礎年金と報酬比例部分に係るマクロ経済スライドの調整期間を一致させる
■在職老齢年金制度
＊賃金と年金額の合計額が月50万円（現行基準）を超えると年金額を減額する制度の見直し
■標準報酬月額の上限
＊厚生年金の標準報酬月額の上限（現行65万円）見直し
▼その他
＊マクロ経済スライド調整がフルに発動される仕組み（名目下限措置の撤廃）など

# 6月14日に第16回定期総会

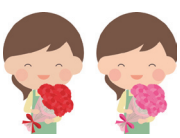
第16回定期総会は、
▼開催日　6月14日（金）
　10時15分開会
▼会　場　清掃会館地下ホール
▼懇親会　12時30分開始
　（総会終了後）
※懇親会費千円です。

今月の定例連絡に「出欠連絡」用ハガキを同封しましたので、返信をお願いします。

なお、今年から「出欠連絡」のネット対応を行うことにします。ネット環境が整っている方にはハガキを送りません。

総会議案は①活動方針、②会計予算、③旅費支給基準改訂を予定しています。例年、5月に総会議案を送っていましたが、今年はいろいろあって準備が遅れており、6月になります。申し訳ありません。

さて、昨年まではコロナ禍により、懇親会を行えませんでしたが、今年は盛大にやります。旧交を温める機会になればと思います。



# 東京平和運動センター学習会
# 「裏金疑惑」そっちのけで「憲法改悪」に前のめりの自民党

司会担当の桐田達也さん

4月13日、東京平和運動センター主催の『平和のバトンをつなごう第6弾～憲法審査会学習会』が田町交通ビルで開かれました。

講師は平和フォーラム事務局長の染裕之さん、学習会の司会は東京平和運動センター事務局長の桐田達也さん、お二人とも東京清掃退職者会のメンバーです。以下、講演概要。

## 岸田大軍拡路線は兵器輸出にまで膨張した

15年9月19日に成立した安保法制は、日本の一つのターニングポイント、ここから毎月の19日行動が始まった。

岸田政権は、22年12月に安保三文書改悪とトマホーク爆買いを閣議決定し、24年3月、防衛装備移転三原則を閣議決定した。かつて、宮沢外相（後に首相）は「兵器輸出で金を稼ぐほど落ちぶれていない。」と国会答弁していた。

## 軍事大国化の進行に並行し憲法審査会の論議が急拡大

安倍晋三は憲法前文を「いじましい」と言っていた。

『憲法審査会』は07年に成立。前身は『憲法調査会』、憲法が機能しているか調査する場だった。22年から開催回数が急増している。改憲派は前のめりだ。

講師の染裕之さん

## 自民党『改憲4項目』の本質は何なのか

『9条の2』を加える。実在する自衛隊という現実との乖離は問題だと主張。現実との乖離は憲法の理念へ近づける努力で解消すべきだ。憲法に明記されると、自衛隊に公共性が付与され、人権と国民生活に重大な影響を及ぼす危険性が出る。

緊急事態対応、教育無償化は法整備で対応できる。論外の合区解消含め、お試し改憲をやり本丸の9条改悪が狙い。

## 戦争する国ではなく平和維持への努力が肝要

戦争する国づくりの法整備が続けられ、岸田訪米で日米軍事一体化が既成事実化した。

アメリカの世界的影響力は低下する。守るべき国益は何か、中国敵視は正しいか、北朝鮮はなぜロケットを発射するのか、米韓軍事演習など挑発しているのは誰か、アメリカ軍需産業の尻馬に乗るな。

戦争して勝てると思う楽観、原発を攻撃されないと思う楽観は度し難い。進むべきは平和の維持への努力だ。

# 裏金疑惑徹底追及！

4月の総がかり19日行動は、「日米軍事同盟強化反対」と「裏金疑惑徹底追及」を主要課題として取組まれました。

岸田訪米の手土産は「経済安保法と武器輸出解禁」、首脳会議では米軍と自衛隊の指揮統制枠組み強化を確認されました。実態は自衛隊が米軍の指揮下に組込まれるものです。

一方、自民党裏金疑惑に対する国民の怒りは、沸騰点に達しています。野党も自覚をもって徹底追及すべきです。

# 4・13根津山小さな追悼会

吉田　雅明

私は、60歳の定年で職場には残りませんでした。退職後、杉並は地域での市民運動が盛んでしたが豊島区には市民運動がないと思っていたところ、空襲の追悼会が市民の手で開かれていることを知りました。手伝いはじめ、13年間運動を続け、現在は事務局長をしています。

高橋区長も参加

## 豊島区の3分の2が焦土に

79年前の4月13日から14日にかけての深夜の3時間半にB29が350機飛来し、豊島区、板橋区、北区などを襲いました。死者2500名、焼失家屋17万戸の被害をもたらしました。豊島区は3分の2が焦土と化し、被災者の人数は23区で最も多いと言われています。豊島区の身元不明の死体137体が雑司ヶ谷墓地内、531体が『日の出3丁目公園予定地』に仮埋葬されました。戦後東京都が、この遺体を掘り出し、荼毘に付し、遺骨は慰霊堂に祀られています。

## 30年続く市民の追悼会

公園予定地が現在の南池袋公園の場所であることから豊島区の『空襲犠牲者哀悼の碑』がこの地に建てられました。碑を建てるだけでなく追悼をしようと市民の手で空襲のあった4月13日に追悼会が、鎮魂の祈りと平和への思いをこめて行われています。今年は30回で、130名の方が集まりました。

## 被災体験を風化させない

被災体験を風化させないために追悼会では被災体験者の方のお話と被災体験の記録の朗読を行っています。被災体験のあるお方は空襲から79年たち、高齢となりお話をしていただくのは難しくなりつつありますが、今年も何とかお話をしていただけました。さらに被災体験を記録し、『被災証言集』として3冊発行しています。

## 平和への思いを大事に

戦争がウクライナやガザなどで行われ、戦争がいかにむごく、この町での被災体験を忘れてはならないこと、平和への思いを大事にしなくてはならないことを訴え続けたいと思っています。

# パレスチナに平和を！ガザに自由を！

「天井なき監獄」どころか「天井なき虐殺場」と化したパレスチナ・ガザ。ジェノサイドを1日も早く止めさせようと、4月21日、池袋デモが行われ、500人参加。池袋駅周辺でアピールしました。

# HIBIYA 95th MAYDAY

オープニングセレモニーに東京清掃青年部が登壇

5月1日の日比谷メーデーは、生憎の雨、しかも本降り。その所為か、全体の参加者は昨年を下回りましたが、雨に負けるなと、登壇者の発言は熱気があふれました。

表明された決意・訴えのテーマは「争議勝利、外国人労働者の人権、最低賃金大幅引上げ、反戦平和運動強化」、日比谷メーデーの中心命題である「だれもが安心して働き、生活できる社会の実現」を象徴するものでした。

退職者会の参加者は18名、ヨロヨロしながらも何とか、鍛冶橋までデモしました。

寒かったし、おなかもすいた
お昼にありつけてよかったね

雨をついて、元気にデモ出発！
今年も東京清掃が先頭でした。

# 中央メーデー

連合芳野会長

第95回メーデー中央大会は、4月27日、代々木公園で開かれました。

芳野連合会長は、「中小企業の賃上げ実現のためには、労務費を含めた価格転嫁という商習慣の定着が必要」と訴え、昨年に続き来賓として登壇した岸田首相は、「デフレを払拭し、物価上昇を上回る所得の実現」を掲げました。

しかし、首相が来場したからだとしても、入場時に持ち物検査までするなんて、労働者の祭典といえませんね。